

## 2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月12日

上場会社名 フュージョン株式会社 上場取引所 札  
コード番号 3977 URL <https://www.fusion.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓也  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 安田 真 TEL 011-271-8055  
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年2月期第3四半期の業績(2023年3月1日～2023年11月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	1,121	7.9	41	△19.4	41	△21.9	39	△10.4
2023年2月期第3四半期	1,038	3.9	51	315.8	53	106.5	44	110.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	27.69	27.62
2023年2月期第3四半期	30.90	30.81

(注) 当社は、2023年7月21日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	565	366	64.0
2023年2月期	641	326	50.1

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 362百万円 2023年2月期 321百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年2月期	-	0.00	-		
2024年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2024年2月期の業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	9.9	40	△27.1	39	△29.4	33	△25.0	23.03

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 当社は、2023年7月21日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年2月期の1株当たり当期純利益は46円6銭となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	1,440,600株	2023年2月期	1,440,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	一株	2023年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	1,440,371株	2023年2月期3Q	1,440,000株

(注) 当社は、2023年7月21日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想について）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式分割について）

当社は、2023年7月21日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより社会経済の正常化が本格化し、緩やかな回復基調が続いたものの、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー資源・原材料価格の高騰や円安に伴う物価上昇が個人消費や消費行動へ与える影響懸念などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く市場環境としましては、コロナ禍でEC（電子商取引）の利用者が急増するなど消費者の購買行動が大きく変化しました。行動制限が収束に向かったことに伴い購買行動が多様化しており、顧客一人ひとりのニーズに応えるためのデータ分析やプロモーションがますます重要になっています。こうした状況のなか、当社は、CRM戦略策定から購買データ分析、クリエイティブ、テクノロジー、マーケティングオペレーションまで顧客マーケティングに関わるあらゆる業務をワンストップで支援する伴走型マーケティングパートナーとしてクライアント企業のマーケティング活動を支援しております。

また、2023年3月17日には日本郵便株式会社主催の全日本DM大賞において、当社は2020年、2021年に続き3度目のグランプリを獲得しました。グランプリとなった金賞受賞作を含む計6作品で受賞し、6年連続の金賞受賞、16年連続のDM大賞受賞となりました。当社のDM大賞受賞実績が、既存クライアント企業からの継続したDM案件の受注へと繋がり、またこれまで得意としてきた流通小売業界向けを主としたBtoC型のサービスのみならず、BtoB型の法人サービス業等の新たなクライアント企業群にも認知が進んでいます。さらにコンサルティング・アナリティクス領域でも既存クライアント企業からの戦略策定支援業務や分析業務の受注が伸長したことが売上高の増加に繋がりました。

コスト面につきましては、インボイス制度への対応に向けた基幹システムの改修と社内ネットワークの刷新に伴いITサービス利用料などが増加しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,121,460千円（前年同期比7.9%増）、営業利益は41,653千円（前年同期比19.4%減）、経常利益は41,488千円（前年同期比21.9%減）、四半期純利益は39,886千円（前年同期比10.4%減）となりました。

当社は、単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績の記載をしておりません。

3つの区分に属する領域及び主要サービスは下記のとおりであります。

区分	領域	主要サービス
CRM支援分野	コンサルティング	・マーケティングコンサル ・メディアプランニング ・統合データプラットフォーム設計 ・その他コンサル
	アナリティクス	・分析プロジェクト ・AI活用プロジェクト ・リサーチ ・BIツール導入及び運用
	クリエイティブ	・ダイレクトメール ・デジタル広告 ・WEBメディア ・ダイレクトレスポンス広告 ・コミュニケーションツール
	テクノロジー	・統合データ環境構築及び運用 ・スマホアプリ開発 ・マーケティングツール導入及び運用 ・システム開発 ・顧客管理システム導入及び運用 ・WEBサイト構築及び運用 ・運用保守
	オペレーション	・事務局 ・コールセンター ・DMセンター ・メッセージ配信運用 ・データマネジメント
サービス運営支援分野	POSデータ開示	・システム基盤の最適化及び機能開発
	EC	・ECの最適化及び付加価値向上
教育支援分野	eラーニングサービス	・DCFM (Data Marketing and Analytics Certified Fundamental Marketer) (注)
	セミナー	・セミナー開催

(注) ANA (全米広告主協会) 公認のeラーニングサービス。

区分別の状況は次のとおりであります。

#### ①CRM支援分野

CRM支援分野は、顧客行動データを保有するクライアント企業に対して、顧客マーケティング（顧客行動データの分析に基づき実施するマーケティング活動）に関するトータル支援を行っております。

当第3四半期累計期間においては、アナリティクスの領域で既存クライアント企業からの戦略策定支援業務や分析業務を月額案件として受注いたしました。またクリエイティブの領域でも既存クライアント企業からのDM案件の受注が増加し売上高は好調に推移いたしました。この結果、売上高は882,193千円（前年同期比10.5%増）となりました。

#### ②サービス運営支援分野

サービス運営支援分野は、クライアント企業に対して、システム基盤の最適化及び機能開発支援、ECの最適化及び付加価値向上支援を行っております。

当第3四半期累計期間においては、ECの領域で既存クライアント企業から継続して案件を受注しているものの、POSデータ開示の領域では一部提供範囲の縮小が影響し、売上高は若干低迷いたしました。この結果、売上高は232,689千円（前年同期比0.8%減）となりました。

#### ③教育支援分野

教育支援分野は、DCFの提供をはじめ、セミナーの開催により、クライアント企業の社内教育やマーケターのスキルアップを支援しております。

当第3四半期累計期間においては、セミナーの領域で新規クライアント企業からのセミナー開催を受注し売上高が増加いたしました。この結果、売上高は6,577千円（前年同期比7.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は565,628千円となり、前事業年度末に比べ75,989千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が34,643千円、売掛金が30,818千円、仕掛品が772千円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は199,580千円となり、前事業年度末に比べ115,991千円減少いたしました。これは主に買掛金が33,333千円、長期借入金が45,126千円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は366,047千円となり、前事業年度末に比べ40,002千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が39,886千円増加したこと等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年4月14日付「2023年2月期 決算短信」において公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	255,763	221,119
売掛金	155,827	125,008
仕掛品	13,329	12,556
その他	36,789	27,499
流動資産合計	461,709	386,184
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	62,134	59,133
その他(純額)	14,431	15,949
有形固定資産合計	76,565	75,083
無形固定資産	35,029	37,019
投資その他の資産	68,313	67,341
固定資産合計	179,908	179,444
資産合計	641,618	565,628

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	106,402	73,069
1年内返済予定の長期借入金	54,734	32,171
リース債務	642	642
未払法人税等	11,026	792
賞与引当金	—	8,676
その他	82,151	46,737
流動負債合計	254,957	162,088
固定負債		
長期借入金	39,692	17,129
リース債務	890	408
繰延税金負債	2,064	1,892
資産除去債務	17,967	18,062
固定負債合計	60,615	37,492
負債合計	315,572	199,580
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	212,928	213,128
資本剰余金	62,928	63,128
利益剰余金	45,865	85,751
株主資本合計	321,721	362,009
新株予約権	4,324	4,038
純資産合計	326,045	366,047
負債純資産合計	641,618	565,628

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	1,038,881	1,121,460
売上原価	586,144	652,206
売上総利益	452,736	469,253
販売費及び一般管理費	401,079	427,600
営業利益	51,656	41,653
営業外収益		
受取手数料	1,975	79
その他	30	67
営業外収益合計	2,005	146
営業外費用		
支払利息	570	311
営業外費用合計	570	311
経常利益	53,092	41,488
特別利益		
固定資産売却益	—	3
新株予約権戻入益	107	178
特別利益合計	107	182
特別損失		
固定資産除却損	0	1,397
特別損失合計	0	1,397
税引前四半期純利益	53,199	40,273
法人税、住民税及び事業税	8,868	3,821
法人税等還付税額	—	△3,262
法人税等調整額	△172	△172
法人税等合計	8,696	386
四半期純利益	44,502	39,886

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は総合マーケティング支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。